

平成24年

6月定例会

渋川市暴力団排除条例を制定

あらまし

平成24年6月定例会は6月8日から21日まで14日間の日程で開催されました。専決処分の報告9件、条例改正など24議案、補正予算2議案が審議され、人事案件を除く議案は各常任委員会、予算特別委員会に付託され、いずれも原案どおりに承認、可決、同意されました。請願は原発からの撤退を決定しエネルギー政策の転換を求める意見書提出を求める請願、年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願で、いずれも不採択となりました。

6月定例会の主な内容

報告

交通事故による和解及び損害賠償の額を定めることについての報告が5件と平成23年度渋川市一般会計繰越明許費繰越計算書をはじめ、渋川市下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書などの報告が4件ありました。

市道の廃止・認定

(仮称)北橋運動場整備事業及びび子持地区農地整備事業実施に伴い、廃止される路線が6路線、認定される路線が2路線ありました。

条例廃止

渋川市コミュニティ供用施設条例は、伊香保地区上野コミュニティセンターを地元自治会が地区集会所として管理運営することとなったため条例を廃止するものです。

条例改正

渋川市税条例の一部を改正する条例2件、渋川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例、渋川市都市計画税条例の一部を改正する条例は、地方税法の一部改正に伴い改正するものです。



伊香保地区上野コミュニティセンター

渋川市手数料条例の一部を改正する条例、渋川市敬老祝金条例の一部を改正する条例、渋川市印鑑登録及

び証明に関する条例の一部を改正する条例、渋川市公共下水道条例の一部を改正する条例は、住民基本台帳法の一部改正及び外国人登録法の廃止に伴い、改正するものです。

渋川市世代間交流館条例の一部を改正する条例、渋川市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正、渋川市小野上温泉供給条例の一部を改正する条例、渋川市都市公園条例の一部を改正する条例も改正されました。

条例制定

渋川市暴力団排除条例は

暴力団排除に関する基本理念を定め、暴力団の排除に関する施策等を定めることにより、市民の安全と平穏な生活を確保し地域の健全な発展に寄与するものです。市の責務や市民等(事業者も含む)の責務を定め、市民等は暴力団排除に資する情報等を知ったときは、市または警察等に情報提供するように努めることが設けられました。

その他

群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議

**防災行政無線に関する工事
請負契約の締結**

渋川市の固定・移動系防
災行政無線システム整備工
事を、9億6180万円で
落札した東日本電信電話株
式会社群馬支店と契約の締
結をするものです。

これは、デジタル防災行
政無線を全市に導入を図る
もので、難聴者ユーザー受
信機も整備されます。

災害時における情報伝達
や情報収集の迅速化を図る
とともに行政事務や防災防
犯情報の円滑な周知、広報



図書館利用風景

に役立てるものです。工事
期間は3年を予定していま
す。

補正予算関係

一般会計は4910万3
000円を増額補正するも
ので、主な歳出は一般コミ
ュニティ助成事業や国際交
流促進事業、人権啓発活動
事業、防災備蓄品整備事業
等です。

また、寄附された100
0万円を図書館資料基金と
して積み立て、今後10年間
で児童図書等の整備を図り
ます。

特別会計は下水道事業で
270万8000円を増額
補正するもので、下郷ポン
プ場改修工事に伴うもので
す。

人事案件

平成24年9月30日の任期
満了に伴い、人権擁護委員
に原口利平氏（行幸田）、
佐藤富士雄氏（北牧）、萩
原登氏（金井）、青木宣雄
氏（有馬）、猪熊正道氏（中
郷）の選任が同意されまし
た。任期は平成24年10月1
日から3年間です。

予算特別委員会の審査

平成24年度一般会計補正予算及び平成24年度下水道事業特別会計
補正予算は審査の結果、2議案とも原案のとおり全会一致で可決さ
れました。補正の主なものは、コミュニティ助成事業や維持管理事
業などです。主な質疑の内容は次のとおりです。

歳入関係

質疑 原発事故損害賠償金
は、請求額のすべてが補償
されるのか。

答弁 平成23年度分の残額
は4月以降に請求、市全体
の損害賠償は東電と合意に
至った部分となります。

総務費

質疑 防犯カメラ設置の経

緯と効果は。

答弁 通報件数の多い、通
称渋女通りに2カ所、自転
車の盗難が多い八木原駅に
1カ所設置しました。市内
全体で32カ所設置していま
すが、抑止効果があると思
います。

教育費

質疑 寄附金を図書館資料

基金として積み立てるが、
寄附者の意向に沿った運用
にすべきでは。

答弁 利息部分については
運用をしていましたが、今
年度より年間100万円を
10年間、図書の購入に充て
ます。

下水道事業会計

質疑 老朽化や耐震化を含
め、長寿命化計画を作成し、
将来を見据えた対応を図る
べきでは。

答弁 伊香保地区で作成し
ていますが、内部留保資金
の確保や国の補助制度を活
用して進めていきます。

補正予算の主な内容

| 会計名 | 補正予算額 | 補正後の総額 |
|---------------|----------|--------------|
| 一般会計 | 49,103千円 | 33,785,103千円 |
| 下水道事業 特別会計 | 2,708千円 | 2,343,266千円 |

- 国際交流推進事業 1,300千円
- いきいき地域づくり支援事業 1,000千円
- 魅力あるコミュニティづくり支援事業... 4,440千円
- 一般コミュニティ助成事業 6,440千円
- 人権啓発活動事業 1,302千円
- じん芥処理事業 2,372千円
- 浄化槽設置整備事業 2,000千円
- 伊香保地区外環道路整備事業 3,784千円
- 図書館資料基金 10,000千円
- 公共下水道維持管理事業（公共流域）... 2,708千円